

## ～ショックでとても悲しい、精神的に打ちのめされた～

京都アニメーション放火事件のニュースは世界を駆け巡りました。海外からも追悼 (mourning) の声が続々と届き、多くの外国人ファンが現地で犠牲者の冥福を祈りました (paid tribute to victims)。こうしたファンの言動や行動は、日本のアニメが世界中で高く評価され愛されてきた証ともいえるでしょう。「京都アニメーションのアニメから勇気をもらい、明るい気持ちになることができた」といったネット上のコメントが印象的でした。

**Anime fans are devastated by the inferno at the animation studio.**

**アニメファンは、そのアニメのスタジオの猛火に非常に大きなショックを受けています。**

be devastated は「(精神的に) ショック・悲しみに打ちひしがれた」という気持ちを表します。「どうしようもない、受け止められない、立ち直れないほどの壊滅的なダメージ」を受けたときにピッタリです。

ショックや悲しさを簡単に表すには、I' m shocked./ I' m sad. /I' m speechless.のようになり、I (私) を主語にする言い方、It broke my heart./ It' s hard to put into words.のようになり出来事を主語にする言い方があります。

inferno は「なかなか消えない猛火」。イタリア語の「地獄」がそのまま英語になったもので、ラテン語の infernus が語源です。

**The devastating arson attack is a tragedy felt across the world.**

**壊滅的な放火は、世界各地の人々が感じた悲劇です。**

この devastating (形容詞) は「壊滅的な、ひどい」という意味の用法です。形容詞としての devastating は、精神面に限らず、devastating impact/effect (甚大な影響)、devastating results/consequences (悲惨な結果) のように幅広く使われます。

**The earthquake and tsunami in Indonesia devastated the coral reefs off the coast of Palu.**

**インドネシアの地震と津波は、パル市沖のサンゴ礁に大きな被害を及ぼしました。**

この devastate は「大きな被害を及ぼす、大打撃を与える」という意味の他動詞として使われています。地震、洪水、火事などの自然災害や、戦争による攻撃などによって、地域や住民に壊滅的な影響や悲劇的な結果を招くときに使われます。devastate をあまり使わなくて済むような世の中になるよう、願いたいものです。

### 単語・熟語チェック

inferno 猛業火、地獄さながらの光景

arson attack 放火

coral reef サンゴ礁

off the coast 沖合で